

問題1：痛みの発生及び伝達メカニズムについて正しいものを2つ選びなさい。

- ① 脊髄での神経線維乗り換えを痛み発生の始まりとする。
- ② 生体に存在する痛みの増強機構が痛みの発生に大きく関与している。
- ③ 脊髄や延髄、中脳では変調が行われ、一部の「痛み」は生じなかったことになる。
- ④ 組織に生じた炎症反応は直接小脳に伝わり痛みとなる。
- ⑤ 末梢神経から脊髄への伝達に痛みの神経が関与している。

問題2：痛みにより生じる生体反応で誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 副交感神経が活性化する。
- ② インスリン抵抗性の発現。
- ③ 心拍数が上昇する。
- ④ ストレスホルモンが上昇する。
- ⑤ 呼吸数が上昇する。

問題3：動物が感じる痛みに対する援助法で誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 血液検査所見を理解する。
- ② 食べやすい食事、食器へ変更する。
- ③ 痛みがある場合でも散歩させる。
- ④ 行動観察により痛みの程度を評価する。
- ⑤ 処置を行う前に鎮痛剤の準備をする。

問題4：強い痛みを感じている動物の描写で正しいものを1つ選びなさい。

- ① 痛みのある部分をじっと見たり、舐めたりする。
- ② 静かにゆっくりとした呼吸をし、環境への関心を強く示す。
- ③ 普段より行動的になる。
- ④ 食欲が亢進する。
- ⑤ 身体全体の力が抜けた状態で横臥する。

出問参考図書

動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門分野 臨床動物看護学 総論 (インターズー社)

動物看護コアテキスト 動物看護の基礎 5 (ファームプレス社)

問題1：痛みの発生及び伝達メカニズムについて正しいものを2つ選びなさい。

- ① 脊髄での神経線維乗り換えを痛み発生の始まりとする。
- ② 生体に存在する痛みの増強機構が痛みの発生に大きく関与している。
- ③ 脊髄や延髄、中脳では変調が行われ、一部の「痛み」は生じなかったことになる。
- ④ 組織に生じた炎症反応は直接小脳に伝わり痛みとなる。
- ⑤ 末梢神経から脊髄への伝達に痛みの神経が関与している。

問題2：痛みにより生じる生体反応で誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 副交感神経が活性化する。
- ② インスリン抵抗性の発現。
- ③ 心拍数が上昇する。
- ④ ストレスホルモンが上昇する。
- ⑤ 呼吸数が上昇する。

問題3：動物が感じる痛みに対する援助法で誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 血液検査所見を理解する。
- ② 食べやすい食事、食器へ変更する。
- ③ 痛みがある場合でも散歩させる。
- ④ 行動観察により痛みの程度を評価する。
- ⑤ 処置を行う前に鎮痛剤の準備をする。

問題4：強い痛みを感じている動物の描写で正しいものを1つ選びなさい。

- ① 痛みのある部分をじっと見たり、舐めたりする。
- ② 静かにゆっくりとした呼吸をし、環境への関心を強く示す。
- ③ 普段より行動的になる。
- ④ 食欲が亢進する。
- ⑤ 身体全体の力が抜けた状態で横臥する。

出問参考図書

動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門分野 臨床動物看護学 総論 (インターズー社)

動物看護コアテキスト 動物看護の基礎 5 (ファームプレス社)